

地理歴史科 学習指導案

1. 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
2. 科目名 日本史
3. 学年・組 第2学年3・4組 (日本史選択者)
4. 単元 (題材) 名 幕藩体制の成立
使用図書は、教科書：『詳説日本史』 (山川出版社)

5. 単元 (題材) の目標

(1) 【知識及び技能】

法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、学問と文化の発展などを基に幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 【思考力、判断力、表現力等】

織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。

(3) 【学びに向かう力、人間性等】

近世の日本を中心に、世界の展開に関わる諸事象にも着目しながら、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

6. 教材観

この単元は、高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 「日本史探究」の内容C「近世の日本と世界」(3)「近世の国家・社会の展開と画期 (歴史の解釈、説明、論述)」ア(ア)、イ(イ)に対応している。

江戸幕府は約260年もの間、安定して運営した長期政権であった。それまでの鎌倉幕府や室町幕府と比べても戦乱のない時代であり、新たな体制を確立し、それを基に継承・発展したことに特徴がある。本教材は、江戸幕府 (時代) における①幕府確立期 (武断政治) ②幕府安定期 (文治政治) ③幕府改革期のうち、①幕府確立期 (武断政治) の内容にあたる。この時期は強力な権力を背景に、諸大名・朝廷・公家・寺社などを支配し、厳しく統制した。外交においても、鎖国体制の確立によって情報統制するとともに貿易利権を独占した。この貿易利益に加え直轄領からの収入や佐渡金山などの主要鉱山からの収入によって確かな財政基盤を築いた。一方で、政権の安定によって経済が発展し、民衆の生活水準の向上が町人を中心とした文化を生み出した。

このような江戸時代の背景を学習したうえで、法や制度による支配秩序の形成と身分制については、織豊政権との類似点や相違点に着目しながら、江戸幕府の統制の特徴を理解させる。また、貿易の統制と対外関係についてはアジアとの関係に関心を向けながら、日本が受けた影響を考察しつつ、外交体制について理解を深めさせたい。学問・文化の発展については、桃山文化との連続性に着目しながら、幕藩体制の成立や経済の発展などの背景を多面的・多角的に考察しながら、文化の様相を理解させたい。

7. 生徒観

略

8. 指導観

個別最適な学びを充実させるために、Google Forms を活用した「演習プリント」を Google Classroom で配付し、全員が授業内容を復習できる環境を整える。また、「知識・技能」だけでなく「思考・判断・表現」の能力の育成のためには、史資料や既習知識を活用（比較、関連付け、抽象化、具体化など）する活動が必須であると考えられることから本時では知識構成型ジグソー法を実践する。ICT 機器を活用した協働的な学びを通して各資料を活用しながら、「江戸幕府が約 260 年もの間、安定して運営できた理由」について、他の意見の影響を受けながら考察し、自分なりに表現できるようにする。また、「江戸時代初期」という時代のまとまりで理解させることによって、その後の授業に接続できるようにしていく。

9. 単元（題材）の評価規準

知識・技能【a】	思考・判断・表現【b】	主体的に学習に取り組む態度【c】
法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、学問と文化の発展などを基に幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	近世の日本を中心に、世界の展開に関わる諸事象にも着目しながら、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

◎：総括的評価（記録に残す評価）

○：形成的評価（指導に生かす評価）

10. 単元の指導と評価の計画（全6時間）

時	学習内容	評価の観点			主な評価規準 (評価方法)
		a	b	c	
第1時	・江戸幕府の成立について、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康を比較しながら理解する。	○	○		【a】徳川家康による江戸幕府の成立過程を理解している。(学習プリント) 【b】織田信長・豊臣秀吉・徳川家康による政権成立過程の特徴を比較し、考察しながら表現している。(Google Jamboard)
第2時 (本時)	・江戸時代初期の社会の姿を理解するために、江戸幕府が約 260 年もの間、安定して運営できた理由を考える。		◎	○	【b】江戸幕府が約 260 年もの間、安定して運営できた理由を「幕藩体制」「朝廷・公家・寺社の統制」「経済・外交政策」「宗教政策」「文化」の観点から史資料を活用して多面的・多角的に考察している。(Google スプレッドシート) 【c】江戸幕府が安定した長期政権となった要因について、見通しをもって意欲的に捉えよう

					としている。(Google スプレッドシート)
第3時	・大名の統制と幕府と藩の機構について、幕府の統制の推移をまとめながら理解する。	○	○		【a】大名の統制に関わる法や制度と幕府と藩の機構について理解している。(学習プリント) 【b】江戸時代初期の統制がどのような特徴・仕組みであったかを、まとめながら表現している。(Google Forms)
第4時	・朝廷・公家・寺社の統制について、幕府との関係に着目しながら比較しながら理解する。	○	○		【a】朝廷・公家・寺社の統制に関わる法や制度について理解している。(学習プリント) 【b】幕府と朝廷・公家・寺社の関係について、鎌倉・室町幕府と比較しながら考察している。(Google Forms)
第5時	・江戸幕府の外交と鎖国体制について、鎖国の意義・影響を考察する。	○	○		【a】江戸幕府の外交と鎖国体制に関わる法や制度について理解している。(学習プリント) 【b】鎖国の成立過程をまとめるとともに、鎖国の意義・影響について、財政面や宗教面から考察している。(Google Forms)
第6時	・寛永期の文化から桃山文化へのつながりを理解しながら、単元のまとめをする。	○		◎	【a】寛永期の文化について、実際の写真などを見るなどして、政治的背景を踏まえながら特徴を理解している。(学習プリント) 【c】小単元の学習の全体を振り返り、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。(Google Forms)

※観点【c】以外の総括的評価については、定期考査においても行う。

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

史資料を適切に読み取ることで、「江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できた理由」を多面的・多角的に考察できるようになる。

(2) 本時の評価規準

【b】江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できた理由を「幕藩体制」「朝廷・公家・寺社の統制」「経済・外交政策」「宗教政策」「文化」の観点から史資料を活用して多面的・多角的に考察している。

【c】江戸幕府が安定した長期政権となった要因について、見通しをもって意欲的に捉えようとしている。

(3) 本時の準備物

教科書：『詳説日本史』（山川出版社）、資料集：『詳説日本史図録』（山川出版社）、Chromebook、学習プリント

(4) 本時の学習過程 ※MQはメインクエスチョン、SQはサブクエスチョン

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
----	-----------	---------	----------------

<p>導入 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・鎌倉幕府と室町幕府の存続期間から、江戸幕府の存続期間について予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期政権を可能にした「江戸幕府の仕組み」をつかむことであることを認識させる。 ・各幕府の存続期間を図示することで理解を促す。また、室町幕府は約240年間存続したが、応仁の乱後（いわゆる戦国時代）に権力が弱体化したことに触れる。 	
<p>展開 40分</p>	<p style="text-align: center;">MQ : 江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できたのは、なぜだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MQの解答を考える。 ・各班に分かれて、進行役を決める。 ・各SQのグループに分かれ、SQに取り組む。各SQはグループごとに一つの答えをまとめ、表現する。(エキスパート活動) <p style="text-align: center;">SQ1 : 江戸幕府はどのように大名を統制したのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史資料を用いて「武家諸法度」「参勤交代」から大名統制について考える。 <p style="text-align: center;">SQ2 : 江戸幕府と朝廷・公家はどのような関係だったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史資料を用いて「京都所司代」「禁中並公家諸法度」「紫衣事件」から朝廷・公家の統制について考える。 <p style="text-align: center;">SQ3 : 江戸幕府の宗教政策はどのようなものだったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史資料を用いて「禁教令」「島原の乱」「寺社奉行」「寺請制度」から宗教政策について考える。 <p style="text-align: center;">SQ4 : 江戸幕府の経済・外交政策はどのようなものだったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史資料を用いて「幕府直轄地」「鎖国」から経済・外交政策について考える。 <p style="text-align: center;">SQ5 : 江戸幕府初期の文化はどのようなものだったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史資料を用いて「朱子学」「権現造」から江戸幕府初期の文化について考える。 ・各班に戻り、各SQの答えを班のメ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「完璧な解答」を求めているのではなく、「自分なりに考えた意見」でよいことを伝える。 ・事前に班分けしておき、班の中で「昨日、寝るのが早かった人」順にSQ1→SQ2→…→SQ5に担当を分ける。 ・エキスパート活動後、各班に戻り、自分の言葉で担当するSQを説明することを伝え、主体的にSQに取り組むことを促す。 ・学習活動が進まないようであれば中間指導で、史資料のポイントを伝え、学習の深化を促す。 ・学習活動が進まないようであれば中間指導で、史資料のポイントを伝え、学習の深化を促す。 ・学習活動が進まないようであれば中間指導で、史資料のポイントを伝え、学習の深化を促す。 ・学習活動が進まないようであれば中間指導で、史資料のポイントを伝え、学習の深化を促す。 ・学習活動が進まないようであれば中間指導で、史資料のポイントを伝え、学習の深化を促す。 ・発表の際、Chrome book を利用しな 	

	<p>ンバーに発表する。(ジグソー活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー活動を通して、MQ を再考し、表現する。 ・MQ に対するそれぞれの考えを共有する。 	<p>がら、視覚的にも発表するように伝える。他のメンバーの発表内容を学習プリントになるべくメモするように指導する。(強制ではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー活動を踏まえたうえで、最初の子想から発展させられるように再考し、表現させる。 ・共有させたい言葉や表現を色を付けるなどして視覚的に理解しやすいようにする。 	<p>【b】江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できた理由を「幕藩体制」「朝廷・公家・寺社の統制」「経済・外交政策」「宗教政策」「文化」の観点から史資料を活用して多面的・多角的に考察している。(Google スプレッドシート)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りを行う。 		<p>【c】江戸幕府が安定した長期政権となった要因について、見通しをもって意欲的に捉えようとしている。(Google スプレッドシート)</p>

「観点別学習状況の評価の判断基準」の設定（本時に総括的評価が伴う場合）

判断基準 評価規準	「十分満足できる」状況（A）	「おおむね満足できる」状況（B）	「努力を要する」状況（C） と判断された生徒に対する 指導のてだて
【b】	江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できた理由を「幕藩体制」「朝廷・公家・寺社の統制」「経済・外交政策」「宗教政策」「文化」の観点から史資料を活用して十分な根拠をもって多面的・多角的に考察している。	江戸幕府が約260年もの間、安定して運営できた理由を「幕藩体制」「朝廷・公家・寺社の統制」「経済・外交政策」「宗教政策」「文化」の観点から史資料を活用して多面的・多角的に考察している。	⇒ Google スプレッドシートで他者の意見を見ることができると、他者の意見を参考にすることを促し、考察につなげさせる。その際、他者の意見を丸写ししないように指導する。